

B チャレ（提案公募型協働事業）【令和元年度】報告書

提出日	令和2年3月6日	記入者	広瀬眞之介
団体名	株式会社 遭遇設計 <input type="checkbox"/> 任意団体 <input type="checkbox"/> NPO 法人 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> その他()		
事業名	地域の在住・在勤・在学者の交流を促進できるファシリテーター育成		
協働団体	文京区役所区民課、地域活動センター（音羽、大原、汐見） 地域の交流拠点（ラボカフェ）、クリエイターチームカラフル、フミコム		
自団体 および 協働団体 の 役割分担	自団体：事業全体の企画・インストラクター育成・交流イベントの実施、運営 文京区区民課・地域活動センター：ふれあいサロンとしての担い手育成。 地域の交流拠点・その実施者：スペースの提供。 クリエイターチームカラフル：MITAMIYO!!プログラムでのコンテンツ提供。 フミコム：伴走支援（キーマンの紹介など）。		
担当者名	広瀬眞之介	役職等	代表取締役社長
部門 (1か2 いずれか ○)	1. 地域活性化部門 2. 課題解決部門(いずれかに○) 1. 住民居住地域の活動へ参加するキッカケづくり ① 在住歴の比較的短い住民が、地域活動にアプローチしやすくするための活動 (2) 高齢者の自主的な取り組みを支援する活動 (3) 高齢者を地域で見守る環境づくりにつながる活動 (4) 地域のつながりから防災意識の向上を目指した活動 (5) 受動喫煙防止に取り組む区内飲食店を支援する活動 2. 子どもを地域で支える取り組み (1) 区立小学校における通学中の安全を守る活動 (2) 不登校等で孤立しがちな児童・生徒を支える活動 (3) 外国にルーツがある児童・生徒についての生活や学習支援活動 (4) 18歳に到達したことにより行政からの支援が終了するケース(虐待、不登校、引きこもり)等を引き続き地域で支援する活動 3. その他、団体の専門性を生かしたテーマで提案された取り組み		

<p>目的 地域のどんな課題を解決したいかを明記</p>	<p>地域の新規住民や通勤通学者など既存住民や既存地域活動との接点が薄い方々は、地域活動や地域住民と関係構築が難しく、数年住んだり通ったりしていてもそうした地域内の人間関係が構築できないままている。 それを改善する人材も不足している。育成にも時間かかる。この2つの問題を解決したい。(副次的に、地域内のソーシャルキャピタルの充実やその流通が行われる。具体的には、子育てや、防災や、介護などの共助)</p>
<p>事業内容</p>	<p>お仕事ボードゲーム会を通じて地域の在住・在勤・在学者が交流できるイベントを実施できるインストラクターを育成し、各地域で交流イベントを開く地域の担い手にする。実施場所は大学や学校のキャリアセンター・進路相談室とし、近隣住民や企業人が参加できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップやロールプレイなどが行える企業研修に導入された専用ゲーム。 ・地域活動に関わりづらい“若者や社会人、子供”が参加しやすい。 <p>【0】キャリアや知育によさそうなので、現役世代が集客される。そこに長期在住歴の住民を混ぜる。(町内会、自治会、商店会など、現役世代の参加や担い手が欲しい人)</p> <p>【1】お仕事ボードゲーム(研修ゲーム)をみんなでプレイする。</p> <p>【2】他のプレイヤー達とコミュニケーションやコンフリクト(衝突)が発生し、人間関係構築になる。</p> <p>【3】もっと深く／広くやりたくなる人が発生。インストラクター養成講座にて、自分で主催出来るようになってもらう。</p>
<p>協働団体 or 利用者の声</p>	<p>【協働未実施団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郁文館高等学校：不特定多数あるいは特定多数の大人を受け入れることが難しい。 ・しろい家：工期が延び期間内実施が不能に。 <p>【協働実施団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文京区区民課：ふれあいサロンが地域の担い手育成を担うがコンテンツ不足だった。これから進めるのに渡りに船の内容。 ・音羽地域活動センター：内容は面白い。ただわかってもらうまでが難しそう。ぜひまたやりたい。 ・利用者の声1：一緒にプレイされた皆様と、文京区の絶景スポット「スカイラウンジ」に行き、東京一円の景色を眺めながら他愛ない会話が楽しめて良かったです。 ・利用者の声2：文京区の地域資源を題材にしたボードゲーム「地方想生」を通じて、文京区の地域活動について知ることもできました。ボードゲームで地域活動を初めて体験したかも。地域交流も手法ひとつでこうも様々なバックグラウンドを持った人が集まるんだなあ。 ・利用者の声3：他にも大人2名加わり、あたし的には異業種交流会的な要素もあり、めちゃくちゃ楽しかった！これ、子供たちとやると面白い！

協働による効果	<p>属性別の集客効果あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体/施設のもともとの利用者にピンポイントでご参加頂く。 ・しかし、その後のイベントへの流入にはあまりつながらず。定期的にその場で開催し続けないと、そもそも認知されない。 ・こちらが開き続けるのは分散してしまっていて効果が薄かった。 ・団体毎に開催したい人を育てて、その人達の自主開催で何度も開くのが望ましい。
---------	---

事業成果および今後の活動予定	<p><当初予定していた成果目標></p> <p>①イベントは 20 回開催予定 各回平均 6 人の参加者をめざす (Max12 人) =120 人 ②インストラクター育成 2 期分 実施 各期修了生 4 人×2 期 (Max8 人) =8 人</p> <p><事業成果></p> <p>①お仕事ボードゲーム会 全 18 回実施、延べ 122 人参加、各回平均 6.7 人参加</p> <p>②インストラクター育成講座 音羽：1 月に実施予定の人数が集まらず。来年度以降の実施を予定 大原：3 月に実施予定が新型コロナの影響で実施見送り 汐見：来年度 6 月を目処に実施予定</p> <p><事業からわかったこと></p> <p>A. 多様な人を集めるにはイベントは複数種類が効果的。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人向けイベントでは集まらない。自身の話と認識できない。 ・ビジネス、就活生、地域交流、女性キャリア、親子と 5 つのイベントを作り、それぞれ 4 サイトで告知すると、小学生～高齢者まで集まるイベントになった。 ・これほど幅が広いイベントがあまりないようで、少しずつリピーターが増えた。 <p>B. イベントが違う人々が集まっているが、それに対する不満は皆無。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容は同じなのと、特に問題も発生しないので、文句言うゼロ。 <p>C. ゲームとは別に、交流の仕掛けを用意したことでイベント後に、参加者同士がカフェでお茶などを行った。</p> <p><今後の活動予定></p> <p>①お仕事ボードゲーム会は常連も出てきたので、新型コロナが落ち着き次第、再始動予定。</p> <p>②インストラクター講座は上記の通り開催予定。</p>
----------------	---

※別紙 1：事業スケジュール 報告

※別紙 2：収支決算報告

※別紙 3：関係者マップ 報告（提案時の内容と比較できる状態）

※追加別添 1：この事業を通じて制作したチラシなどのデータ

※追加別添 2：この事業の様子が分かる写真のデータ（10 枚以内）

別紙2: 収支決算報告

作成日: 令和2年 3月6日

Bチャレ(提案公募型協働事業)【令和元年度】

団体名: 株式会社 遭遇設計

収入 685,741 円

費目	予算額	積算根拠
「Bチャレ」助成金	500,000 円	地域活性化部門
参加費徴収	55,000 円	500~1000円(のべ122人(平均約6人×18回))
遭遇設計 補填	130,741 円	遭遇設計 補填

支出 685,741 円

費目	予算額	積算根拠
チラシ制作+配布費	65901 円	チラシ作成 100枚 1,859円、 新聞折り込み 1回10,900部 64,042円
イベント紹介サイト利用料	11025 円	平均約612円×18回
人件費(講師)	486000 円	18回(3時間×講師料9000円) ※特別区職員研修所講師謝礼支払額基準に準ず。
人件費(スタッフ)	75000 円	18回(およそ2.1時間×2000円×1名)
教材費	0 円	支出内容・単価・内訳等を記入
会場費	36850 円	18回分
飲食費	10965 円	お茶、お菓子 18回分
	円	



